

# **第 10 回地区庶務担当理事連絡協議会**

## **(平成 30 年 3 月 28 日開催分)**

### **△報告ならびに協議事項**

#### **1. 医籍登録 10 年以内の B1 会員の会費減額について**

医籍登録 10 年以内の B1 会員の会費について、平成 30 年度から B2・D 会員と同額の 8,400 円／年に減額することを報告。若手医師への周知を依頼すると共に、会費無料の研修医期間終了後も、医師会活動への協力や若手医師との連携・協議のためにも、継続入会への協力を呼びかけた。

#### **2. 最近の中央情勢について**

2 月下旬から 3 月中旬にかけての社会・医療保険状況について解説。「医療・介護連携、同時改定で双方から評価充実」「加藤厚労相が医療法改正案『医師の地方勤務を後押し』」「厚労省検討会において複数医のオンライン診療の場合、計画明示で『代表医のみ対面』も認める」といった話題を中心に説明した。

#### **3. 京都市乳がん検診における視触診の廃止について**

京都市では、平成 30 年 4 月より、視触診が廃止されることを報告するとともに、京都市乳がん検診の実施方法の変更点等について説明した。

#### **4. 医療安全シンポジウムについて**

**日 時** 4 月 22 日 (日) 午後 1 時 30 分～4 時

**場 所** 府医会館 3 階 310 会議室

**テーマ** 「安全な医療とは？～本当の意味での説明と同意をご存知ですか？～」

上記の日程で開催することを報告。府・市民に医療安全を啓発していきたいとし、広報への協力とともに積極的な参加を求めた。

#### **5. 日医かかりつけ医機能研修制度平成 30 年度応用研修会の開催について**

**日 時** 5 月 20 日 (日) 午前 10 時～午後 5 時 15 分

**場 所** 市内会場： 府医会館

**舞鶴会場： 舞鶴メディカルセンター**

上記の日程で、日医テレビ会議システムを利用した研修会を開催するとし、多数の参加を求めた。

#### **6. 学術講演会の今後の予定について**

4 月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を求めた。

#### **7. 診療報酬改定にかかる記載要領等説明会について**

診療報酬改定にかかる記載要領等説明会が 4 月 23 日 (月)～24 日 (火) で行われることを告知。京都医報 3 月 15 日号掲載の申込書を利用の上、応募してほしいとして、多数の参加を

求めた。

## 8. その他

### ◇第30回日本医学会総会 2019 中部

日 時 2019年4月27日(土)～4月29日(月・祝)

場 所 名古屋国際会議場、名古屋学院大学白鳥学舎、ウインクあいち

事前参加登録期間 2018年2月1日(木)～2019年4月5日(金)正午

小野府医理事より、2019年4月27日(土)～4月29日(月・祝)にて名古屋にて開催される第30回日本医学会総会の事前参加登録を呼びかけた。

## △地区からの協議事項

### 1. 各種講演会・研究会に関する日医生涯教育講座の単位認定証の発行について

飯田明男上京東部医師会理事より、①研究会の認定証発行の権限はどこにあるのか、事後の認定証発行の要求は有効なのか、②研究会への関与の程度や規模に関わらず、地区医が認定証を発行すべきなのか、③地区医が新たな研究会を立ち上げるといったケースでは、認定証は府医に依頼するのか、それとも地区医が独自に発行しても問題ないのかとの質問が出された。

小野府医理事は、出席時の署名簿を基に単位を入力しているため、受講証がなくても、日医生涯教育講座の単位・カリキュラムコードは付与できると説明するとともに、地区医にも日医生涯教育講座の認定権があることを示した。

### 2. その他

古村俊人福知山医師会理事より、生活保護法の改正法案が通った場合、医療扶助において、ジェネリックの使用が義務化されるとして、どのように対応したらよいかとの質問が出された。

古家府医理事は、法案が通った場合、医師会として対応するというより、行政が主体的に患者に周知すべきものであるとし、後発医薬品への変更を不可とするかどうかは医師の裁量によるのではないかと応答した。